

## References

- [1] C. S. Ballantine and R. Loewy, Self-duality results for unitary and Hermitian matrices, *Linear and Multilinear Algebra*, 13 (1983), 221-230.
- [2] P. Griffiths and J. Harris, *Principles of algebraic geometry*, John Wiley & Sons, New York, 1978.
- [3] M. Marcus, A note on the Hodge star operator, *Linear Algebra and Appl.*, 10 (1975), 85-87.
- [4] A. Trautman, Deformations of the Hodge map and optical geometry, *Journal of Geometry and Physics*, 1 (1984), 85-95.
- [5] F. Warner, *Introduction to manifolds*, Scott-Foresman, New York, 1971.

Yukio HIRASHITA

College of General Education

Chukyo University

Nagoya 466

Japan

## 〈資料〉

## バズ学習の実践的報告一覽 II

—全国バズ学習研究集会第16回から第21回

—までの分科会報告を中心として—

杉江修治  
宇田光

バズ学習の実践的研究の動向を展望する資料としては、本報告は先の杉江・市川・石田・石田(1981)の報告に次いで2度目である。今回は1981年から1986年の6回の全国バズ学習研究集会の中でみられた実践研究の展開に検討を加え、併せて先の報告と同様、分科会で報告された実践研究のリストを、内容別に分類した上で付した。

## 1 第16回全国バズ学習研究集会(1981年)

第16回の研究集会は兵庫県加西市立北条小学校で開催された。この小学校は1974年から「ひとりひとりを生かす」ことをめざした学習指導の研究を継続して行った、非常に研究熱心な学校であった。1980年から、個を生かすために不可欠の条件としての児童間の相互作用の必要性という観点から、バズ学習をとり入れはじめ、1981年の研究集会は、長年の研究の積み重ねを背景としながらも、バズ学習そのものについては、導入期の公開ということであった。

北条小学校の研究資料によれば、1980年度からの研究の推進にあたって、次のような仮説が立てられている。

- (1) 単元を単位とした学習計画を児童とともにたてて、学習の見直しをもたせることによって、課題解決への意欲をもたせることができるのでは

ないか。

(2) すべての児童がとり組めるような学習課題を提示することによって、ひとりひとりの児童の個人学習が充実したものになるであろう。

(3) 集団の中で人間関係を密にすることによって、相互作用が十分に行われ、学習の効果を高めることができるであろう。

(4) 即時評価することによって、学習活動を、より効果的にすることができるであろう。

(5) 個人思考、グループ思考、全体思考、まとめ、確認の過程を基本的な学習の流れとすることによって、児童は学習を自分のものとしてとり組むことができるであろう。

(6) 低学年の学習を身近な学習の場として、合科会にとり扱うことによって、学習効果を高め、生き生きとした学習ができるであろう。

この仮説からうかがえるように、北条小学校では、バズ・単元見通し学習の考え方を積極的に学習指導の中にとり入れることを試みている。

北条小学校の指導案の1例を次に示してみたい。教材は5年生社会科「石油化学コンビナート」である。

A. 学習計画 8時間

次	学習内容	学習課題	時間
	フリテスト		課外
1	学習計画の立案	○石油化学工業について、学習計画を立てよう。	1
2	石油製品と私たちの生活	○身の回りの石油製品を調べよう。	1
3	石油化学コンビナートのしくみとそこで働く人のようす	○石油科学コンビナートのしくみを調べよう。 ○工場で働く人々は、どんな仕事をしているのだろうか。 ○働く人々が気をつけていることを調べよう。	3
4	工場災害・公害のようすと防止対策	○工場災害を防ぐために、気をつけていることを調べよう。 ○工場や地域は、公害に対してどんな対策をとっているのだろうか。	2
5	まとめとポストテスト	○まとめとポストテストをしよう。	1

B. 本時の学習 (第3次の第1時)

(1) 目標

認知的 ○コンビナートは、原料をむだなく使い、合理的な生産のできるしくみであることがわかる。

態度的 A石油精製の図表、工場配置図などの資料から、コンビナート形態になっていることを考えようとする。

Bグループで資料を吟味し、まとめようとする。

(2) 準備 ○資料 (石油精製の図表、工場配置図、コンビナートの写真)

(3) 過程

学習形態	学習活動	指導上の留意点
全体	1. コンビナートの写真、工場配置図を見て、本時の課題を確認する。 石油化学コンビナートのしくみを調べよう。	○資料を見せて、学習の方向づけをする。
全体	2. どんな施設、工場があるか話し合う。 ・施設…高いエントツ 大きな石油タンク ・工場…ガス工場 石油化学工場	○自由に気づいたことを発表させたい。 ○高い、大きい、たくさん等の感覚的なとらえ方をさせ、コンビナートの概要をつかませたい。 ○M・K児については、資料的部分の見方を指導し、理由を考えさせる。
個人	3. 多くの施設、工場が集められている理由を資料を見て話し合う。 ○予想する。 ○確かめる。	○工場と工場を結ぶパイプに着目させ、原油の有効利用、輸送の省力化、短縮化に気づかせたい。
グループ	・原油を有効に使っている。 ・輸送の手間が省ける。 ・動力、用水をむだなく使っている。	○火力発電所、工業用水の燃料についても資料をもとにし、確かめさせる。 ○自分のことばで、まとめさせたい。
個人	4. 学習のまとめをする。 石油化学コンビナートは、原油をむだなく使い、合理的な生産のできるしくみになっている。	
全体	5. 次時の課題について話し合う。 ○工場で働く人々は、どんな仕事をしているのだろうか。	○働く人に目を向けて、家の人の仕事と比べて、共通点や相違点を調べさせたい。

○自己評価のポイント ・石油化学コンビナートのしくみがわかったか。

・グループで協力しながら、資料の吟味ができたか。

北条小学校ではさらに、プリテスト、ポストテストを簡略なS-P表に整理し、個人毎、グループ毎の分析を加え、指導に役立てるための処理を適切に行っていることを示す事例も報告している。

他校の実践者の報告も交えた分科会は合計13が用意された。その内容は次のリストに示す。

第16回全国バズ学習研究会の分科会構成

分科会	テーマ (内容)	対象校種・学年
I	ひとりひとりを伸ばす保育	幼稚園
II	合科指導	小学校低学年
III	学級づくり	小学校低学年
IV	課題設定	小学校中学年
V	学習の質を高める話し合い	小学校中学年
VI	思考力を育てる学習方法	小学校高学年
VII	評価の工夫	小学校高学年
VIII	学力の向上態度の育成	中学校・高校
IX	学級集団づくりと生徒指導	中学校・高校
X	創意ある教育活動の実践	小学校
XI	ゆとりの時間の計画と実践	中学校
XII	障害の程度に応じた教育方法の工夫	小学校
XIII	同和教育の深化充実	中学校

このリストは、バズ学習の基本的な考え方が、学校教育の領域のほとんどすべてにわたって効果的に適用されうる可能性を示唆しているように思われる。例えば、就学前教育の分科会、障害児の教育を扱う分科会、さらに同和教育の分科会が含まれているところに、その広範な実践化を見ることができ。さらに、新しいゆとりの時間への対応も扱われている。

2 第17回全国バズ学習研究会 (1982年)

第17回の全国バズ学習研究会は三重大学教育学部で開催された。これまでの研究会とは異なり、実践校の公開授業はなかったが、全国の実践者の実践発表研究の時間を多くとった形式であった。

分科会の構成、内容は下に示す通りである。

第17回全国バズ学習研究会の分科会構成

分科会	テーマ (内容)	対象校種・学年
I	なかまづくり — なかまよき学級づくり、教えあいから話し合いへ	小学校低学年
II	効果的な話し合い学習 — 学習過程の工夫改善、支え合う学習集団づくり	小学校中学年
III	思考を深める相互作用 — 個人思考と集団思考、人間関係の高まり	小学校高学年
IV	非行を生み出さない指導 — 学級集団の育成、落ちこぼさない授業、自主活動の推進	中学校・高校
V	学力と人間関係の同時達成 — 学習集団の育成、集団思考と教育工学による学習のシステム化、目標と評価	中学校・高校
VI	ゆたかな人間形成をめざして — ゆとりと充実をめざす (学校裁量時) 教育、道徳 (同和) 的実践力を高める指導	中学校・高校

実践報告の内には、三重大学の市川千秋を中心とした三重教授・学習過程研究会の「自由バズ」研究が3件、実証的な手法を用いて報告され、新しい教育的視点と方法として注目を集めた。

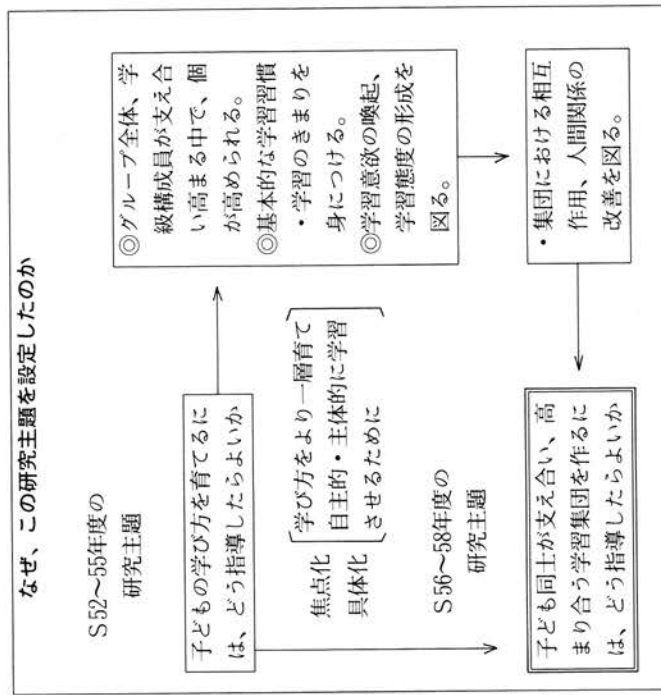
また、この研究会では、バズ学習の初歩的な解説を、理論面、実践面から行う「研修講座」を、小学校低学年、小学校高学年、中学校・高等学校の3段階に分けて開催するという新しい試みもなされた。

3 第18回全国バズ学習研究会 (1983年)

第18回全国バズ学習研究会は、新潟県五泉市立五泉南小学校で開催された。この研究会は、全国バズ学習研究会と五泉市教育委員会の共催であった。

五泉南小学校では1981年から3年間、学校体制で「子ども同士が支え合い高まり合う学習集団を作るにはどうしたらよいか」というテーマで学校体制の研究を継続しており、この研究会はそのまとめの段階のものであった。この学校は上記のテーマの研究以前に、1977年から1980年にかけて「子どもの学び方を育てるにはどう指導したらよいか」というテーマの研究を積んでいる。ひとりひとりの子どもを伸ばし育てるという関心

に、彼らを支える学習集団づくりの視点が加わって新しい研究の方向が見出されるというこの学校でのとりくみの推移は、第16回全国集会の北条小学校と類似した経緯をうかがわせる。五泉南小学校の研究紀要22集から、研究主題設定の過程を図示したものを示しておこう。

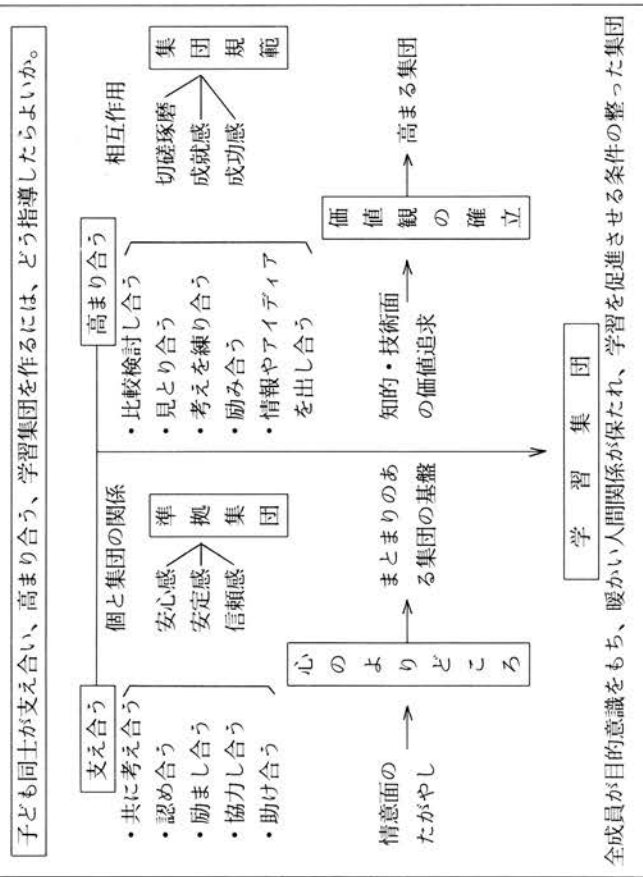


さらに、研究のねらいの周辺をやはり図の形で示したものを、同紀要からぬき出して示しておく(次頁)。

五泉南小学校は、バズ学習だけでなく、末吉梯次・片岡徳雄らの小集団学習、高旗正人の自主協同学習にも多くを学んでいる。長年の研究の積み重ねには、着目すべきすぐれた実践が多くあった。

具体的には、学年別に学習集団のあるべき姿を設けている点、これは指導の目標を明確化するうえに必要で欠くことのできない手続きである。教科の目標は別として、学習集団について指導目標の設定を行った実践は多くない。また、授業実践の報告では、実際にどう指導し、子どもがどう変

この研究主題が意図していることは、どういうことか。



たかという、中身の十分な記述が行われている点。子どもは自己の習得についてはきちんと評価を数量化して示そうとしている点。これらは自己の実践を科学的に客観的に検討しようとする態度のあらわれであり、高く評価できよう。さらに、高旗らの研究成果をとり入れて、学習集団の変化を評価する試みも行っており、積極的な研究への構えをうかがうことができた。

研究を行う教師自身が自らを問うという認識をはっきりさせたいので、次は学習指導のリーダーであるという認識をはっきりさせたいので、次のような記述を紀要(1983)にみることもできた。

「子どもを変えるには、教師自身の指導法の改善、教師の自己改革がなされて、はじめて可能であることを、改めて確認合いました。口先だけの、理論先行の指導では、子どもの姿を変える力にはなり得ないこと、真から子どもの自主的・主体的な活動を支援し、容認する態度が子ども同士のかかわり方を大きく変えること等、実践から教えられることが多くありました」(P. 187)

五泉南小学校では、研究は技能教科もふくんだすべての教科にわたっていった。さらに学級会活動を中心とした特別活動でも研究努力を大きく注いでいた。この学校での3年間の成果を項目にまとめたものを次に列挙し、研究の関心の広さと効果をみてみよう。

- ・集会活動や集會に参加する態度が主体的になり、子ども相互の自治的な作用がみられる。
- ・良い意味でのリーダーシップを発揮し、好ましい人間関係を結ぶようになった。
- ・助け合い、励まし合う姿勢がみられるようになった。
- ・学校生活全般に活気が出た。
- ・学習中の話し合い活動が、全員参加の方向に進んできた。

おわりに、五泉南小の1983年度での「今後の課題」を列挙しておきたい。数年の研究の積み重ねの中でさらに残る課題としてどのようなことがあるのかという事例としても興味深いと思われるからである。

- ・子どもたち自身の中から、集団規範を作る手だて、方法を工夫する。
- ・学習集団形成に関する評価の実施と、その結果の活用を図る。
- ・安易に友だちに頼りたがる傾向の子どもを、どう指導するか検討する。
- ・全員の子どもが、自分の問題をもって学習に取り組む点に、まだ弱さがみられる。

分科会の構成は下にまとめて示す。体育が独立してとりあげられたことと、特別活動も他の教科と同様のとりあげ方がなされていることが特徴である。

第18回全国バス学習研究集會の分科会構成

分科会	テーマ (内容)	対象校種・学年
I	国語 — 読みとる力、聞き取る力を伸ばすには、相互作用をどのようにさせればよいか。	小学校
II	社会 — 自主的に協調して課題を追究する子どもに育てるにはどのようにすればよいか。	小学校
III	算数 — 筋道をたてて考え、処理する力と態度を育てるには、どのようにすればよいか。	小学校

IV	理科 — 自然の事象をありのままにとらえることを通して、一人ひとりの考えを出し合い、自分達の問題をねばり強く追及させる理科指導。	小学校
V	体育 — 効果的な見取りを成立させるには、どう指導したらよいか。	小学校
VI	特別活動 — みんなでやろうとする気持ちを高める話し合い活動を求めて。	小学校
VII	学級経営 — 学級を学習集団に育てるには、どのような指導をすればよいか。	中学校・高校
VIII	学習指導 — 学習における小集団の指導は、どのようにすればよいか。	中学校・高校
IX	生徒指導 — 生徒非行を生みださない指導は、どうすればよいか。	中学校・高校

#### 4 第19回全国バス学習研究集會 (1984年)

第19回の全国バス学習研究集會は、広島県豊田郡豊町と豊浜町両町の全幼稚園、小学校、中学校、高等学校で開催された。中心となった組織は、1978年、第13回の全国バス学習研究集會と同じ2町にまたがって開催されたことが契機となって作られた豊高校区教育推進協議会であった。この協議会は両町の幼～高までの全教職員が参加し、地域の教育課題に応える一貫教育態勢づくりをめざすという、極めてユニークな組織であった。

それはまた、実際に学校を越えた連携（しかも2町全校）を果たしたという意味で貴重なケースであった。このような連携はしばしば必要性は語られていても、実際になされたことはかつてなかったのではないだろうか。

研究集會のテーマ「地域の教育課題をふまえた教育内容の創造——共に生きる集団づくりを——」には、産業の低迷と過疎に悩む瀬戸内島嶼の課題意識が込められている。さらに地域住民の真の連帯の基礎づくりとしての同和教育への積極的態度が背景にある。

第13回の研究集會以降、この推進協議会が塩田芳久を中心とした研究者グループと行った地域全体の児童生徒の5年間追跡実態調査がある。知能、学力、学習適性、学級内人間関係についてのデータは、地域の教師の協力のもとに集められ、研究者グループによる集計、分析を経て報告書の

作成が行われると同時に、児童生徒の結果の個表も作られ、指導に役立つ資料とされた。また、毎年、少なくとも各校1回の公開研究会を開き、バズ学習の指導理念に基づき、各校の特色も出した実践を交換し合うという経験も積んだ末の第19回集会であった。

当日は、幼稚園(5園)、小学校(6校)、中学校(2校)、高校(1校)のすべてで多数の公開授業がくりひろげられた。指導はすべてバズ・単元見通し学習で行われた。小人数の児童しかいない小学校では複式学級や集合教育の事例も示された。さらに、中学校では1校で町内バズという形の地域バズ活動が、もう1校ではクラブ発表も公開された。

分科会の構成は下に示す。そこで分るように、第1分科会として同和教育がテーマとしてあげられ、人間関係を基盤とするバズ学習が、教科指導の改善による学力保障という面だけでなく、人権教育、民主教育を支える力ともなることが示されている。また、第16回研究会につづいて幼稚園教育の分科会が設けられたこと、さらに、複式学級の分科会が設けられたことが特色としてあげられよう。

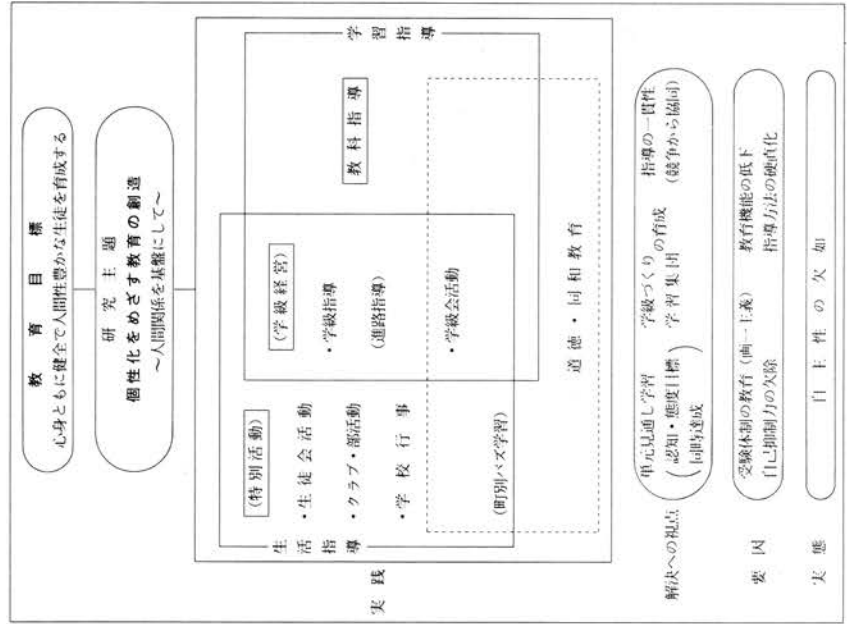
第19回全国バズ学習研究会の分科会構成

分科会	テーマ (内容)	対象校種・学年
I	同和教育 — 地域の教育課題をふまえた教育内容の創造へ向けて。	全 校
II	幼稚園教育 — 遊びの中で経験を通していきいきと活動できる保育を考える。	全 校
III	複式教育のあり方 — 複式学級における授業改善のあり方。集合教育の実践のあり方。	小 学 校
IV-A	やる気を育てる授業改善 — 国語を中心に。	小 学 校
IV-B	やる気を育てる授業改善 — 社会を中心に。	小 学 校
IV-C	やる気を育てる授業改善 — 算数を中心に。	小 学 校
V	特別活動 — 学習集団と生活集団の統合をめざす。	中学校・高校
VI	授業改善 — 単元見通し学習による授業改善。	中学校・高校
VII	集団づくり — 基礎学力の充実をめざす学習集団づくり。	中学校・高校

5 第20回全国バズ学習研究会(1985年)

第20回全国バズ学習研究会は、姫路市立高丘中学校、城南小学校、御国野小学校の3校を会場として開催された。姫路地区は、西播バズ学習研究会を組織し、過去に第3回(1971年)、第12回(1977年)、第14回(1979年)と3回にわたって研究会を開催している。3つの開催校ではともに、学校としての中断はあっても、地区としてバズ学習を伝統的にうけついできた中で、必ずしもバズ学習の「型」に捉われず、積極的な教育機器活用等の工夫を導入し、指導システムの中にバズの原理を自然に生かしていた。

高丘中学校の研究の全体像



1985年度 町バズ計画

町名	回数	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
町名	回数	9月12日	10月11日	11月21日	12月12日	1月16日
山吹	工場見学 (クローリー工業 又は消防署)	奉仕作業 (雨の時、公民館の窓ふき) (祭祀後の清掃)	長老を囲んでの話 (公民館)	映画会 (学校)	百人一首 (公民館)	
上手野	映画会	ハイキングとお宮の清掃	老人会との交流	サンドイッチ パティー (学校調理室)	百人一首	
下手野	奉仕活動 (公園)	グローリー見学	球技大会 (株文山公園)	しめなわ作り	映画会	
船越	工場見学	町内清掃 竹園工の準備	竹細工	クリスマス会	百人一首	
山の北	町内球技大会	祭りの後の清掃 (町内)	サンドイッチ会	クリスマス会	百人一首	
下手野 団地	観身体験者の話	清掃	サンドイッチづくり	親に手紙を書く	百人一首	
東夢前台	工場見学 (グローリー)	奉仕活動 (河原)	ドッチボール大会 (学校)	クリスマス会 (学校) (サンドイッチ)	自治会長の講話 (集会所)	
高岡新町 南	工場見学 (名定工作所)	サンドイッチ パティー	バトミントン (雨の時は読書会)	読書会	百人一首 (学校体育館)	
松ヶ谷	チビッコ広場の清掃	紅白ソフトボール (公園)	消防署見学	クリスマス会 (学校の教室)	百人一首	
西今宿	講演会 (高岳神社の歴史)	地域奉仕活動 (高岳神社)	映画会 (学校体育館)	しめなわ作り (学校体育館)	百人一首	
藤ヶ谷	パソコン ワークショップ	祭りの後かたづけ	ビデオ (学校視聴覚室)	しめなわ作り (下分野に合併)	百人一首	
西今宿 6丁目	健康体操	奉仕作業 (原台車、集会所)	西消防署見学	手紙を書く (親・先生等)	百人一首	
東今宿	工場見学	映画会	親子でキックボール (学校)	しめなわ作り (市民センター)	百人一首	
神子岡前	西消防署見学	ゲートボール	親子でバレーボール (学校)	公園道路の整備	百人一首	
車崎	映画会 (町で)	自治会長さんの話を聞く	集会所周辺の清掃	おむすびコンクール	百人一首	
北今宿	西消防署見学	奉仕作業 (公民館)	北今宿のあゆみ	サンドイッチ パティー (公民館)	百人一首	
名古屋	講師を招いて	名古屋の清掃	ビデオ「中学生日記」 (集会所) NHK	門松作り (男子) 料理作り (女子)	百人一首	

\* 第1回 5月16日 各町共通内容 「班編成など組織づくり」

第2回 6月20日 「年間計画の決定と責任者の決定」

第3回 7月18日 「町対抗選手決定」

第4回 8月24日 「町対抗競技大会」

第10回 2月20日 「1・2年生によるおむすびコンクール準備」

第11回 3月13日 「おむすびコンクール」

高丘中学校の実践を例にとるならば、教科指導はバズ、単元見通し学習を学習設計の原理とし、さらに、学級経営、特別活動にも積極的にバズをとり入れている。また、地域の課題としての同和教育にもバズ学習の考え方をとり入れた実践を行っている。高丘中学校は、先の第19回の豊浜中学校と並んで町別バズの実践を行っていることで特色のある学校でもある。全国的にも珍しいこの実践のねらいと実情については、高丘中学校の紀要の記事を引用しよう。

「本校の『町バズ』は、発足当時より、学力補充学習に主眼をおいたものではなく、非行問題多発校であった本校が、その生徒指導の一翼を大きく担うものとして取り上げたものであった。幸いにも、保護者並びに地域の人々の全面的協力を得て、当初の目的を達するが、近年この伝統ある『町バズ』も、発足当時の切羽つまった問題意識がうすれ、『何のための町バズかわからない』『形だけが残っている』『せっかく当番としてやってきてきても、バズ学習の中に保護者としてどう入っている』『せいかく……』等の声が多きかれるようになる。一方、『地域の理解、協力なしに、生徒の健全な育成は図れない』との声も強い。……家庭・地域・学校のゆるぎない三者結合の広場として一歩進めるために、保護者や地域がもつ教育力・教育的な資源をより一層活用し、人間性豊かな生徒の育成をめざさそうと再出発したのである。」

高丘中学校の町バズの計画表を例として次にかかげておこう。

第20回研究会の分科会構成は次のとおりである。ここでは、教科学習、学級経営等の内容に加えて、特別活動、道徳・同和教育、地域教育と、教育の広い範囲をおおう実践報告が行われる。さらに、進路指導の分科会が設けられたことは、新しい試みであった。高丘中学校では、進路指導を積極的にとりあげ、次のような「ねらい」をかかげている。

- (1) 生徒の漠然とした進路目標を明確にし、自己の人生、自己の進路について、将来への展望をもたせ、関心や意欲をもって進路を選択し準備をさせる。
- (2) 進路意識の啓発により、生徒に人生への目標と自己実現(生きがい)をもたせる。
- (3) 個々の生徒が自己の適性や性格を理解し、自主的な進路の選択を行えるよう、的確な自己洞察に基づき進路設計をさせる。

第20回全国バズ学習研究会の分科会構成

分科会	テーマ (内容)	対象校種・学年
I	算数 — 学習具を工夫し、創作活動を通して数学的な考え方をどのように高めるか。	小学校
II	社会 — 地域の素材を教材化し、自ら学ぶ力と態度をどのように育てるか。	
III	体育 — 固定施設の遊具器具を使って、自ら体力づくりをどのようにすすめるか。	
IV	国語 — 確かで豊かな表現力・読み取りの力をつける指導をどのようにするか。	
V	理科 — 課題意識をもたせ、自ら探求する意欲を高める指導をどのようにすすめるか。	
VI	学級づくり — 励まし合い、認め合う学級集団づくりをどのようにすすめるか (いじめの問題点とその対策)。	
VII	学級経営 — 個を認め、個を生かした学級づくりをどのようにすすめるか。	中学校
VIII	教科学習 — 自主的協力的な学び方を育成し、個に応じた指導をどのようにすすめるか。	
IX	特別活動 — 生活規律の向上と活性化をめざし、やる気と抑制力を高めるにはどうすればよいか。	
X	道徳・同和教育 — 人の心がわかり、共に生きる生徒の育成をどのようにすすめるか。	
XI	進路指導 — 目標を持ち、自己表現をめざす生徒の育成をどのようにすすめるか。	
XII	地域教育 — 地域の教育力の開発と活用をどのようにすすめるか。	

以上の「ねらい」は、バズ学習を通して形成したい学力と同様の内容が非常に多い。いいかえれば、バズ学習のねらい、方法は進路指導という、青年前期での自我同一性獲得への方向づけにも有効に機能するということが指摘できるのである。

6 第21回全国バズ学習研究会 (1986年)

第21回全国バズ学習研究会は名古屋市の中京大学の開催された。この研究会は、バズ学習研究の基本的問題を、バズ学習の実践者と研究者

が相そろって見直し、深化する機会とすというねらいと、さらに、愛知県で再度バズ学習の実践の紹介を通して現場での理解を深め、教育改善の視点を得てもらおうというねらいをもったものであった。全体会では、バズ学習の長い実践を重ねた学校、地域の報告によって、その効果を紹介した。分科会は、従来型の実践校、実践者の研究発表の分科会に加えて、「どのよいうにバズ学習をすすめるか」について、実践者、研究者が全体会の報告をふまえてつづつ解説し、それへの質疑を行うという分科会が設けられた。最終日のレクチャー・フォーラムでは、実践、研究面で経験豊かな報告者からの、バズ学習の意義と可能性についてのレクチャーが行われた。分科会の構成は下に示す。

第21回全国バズ学習研究会の分科会構成

分科会	テーマ (内容)
I	小学校低学年のバズ学習
II	小学校高学年のバズ学習
III	中学・高校のバズ学習 — 教科指導からのスタート
IV	中学・高校のバズ学習 — 生活指導からのスタート
V	バズ学習による教育態勢づくり
VI	バズ学習による教科指導の方法 — ひとりひとりを生かす指導に向けて
VII	バズ学習による生活指導の方法 — 非行・いじめ・登校拒否の克服に向けて

なお、第16回から第21回までの全国バズ学習研究会の開催に関する資料を次に一覧表にして示しておく。

回数	日程	主催者 (後援者)	開催地・開催校
第16回	1981. 11. 13 ~ 14	全国バズ学習研究会 兵庫県加西市立北条小学校 兵庫県加西市教育委員会 兵庫県教育委員会 兵庫県加西市 兵庫県小集団学習研究協議会	兵庫県加西市・北条小学校
第17回	1982. 8. 27 ~ 28	全国バズ学習研究会 三重大学教授・学習過程研究会 三重大学教育学部教育心理学教室 三重県教育委員会 津市教育委員会	三重県津市・三重大学教育学部



第18回	1983. 10. 7 ~8	新潟県五泉市教育委員会 新潟県五泉市立五泉南小学校 全国バズ学習研究会 全国バズ学習研究会 広島県豊高地区教育推進協議会 広島県尾道教育事務所管内 き地模範教育連盟 広島県尾道教育委員会 豊町ならびに豊町教育 委員会 豊浜町ならびに豊浜町 教育委員会 豊田・竹原教育振興会 広島県高等学校教職員 組合 広島県高等学校教職員 組合 竹原地区支部 広島県尾三地区高等学 校同和教育推進協議会 広島県下島地区PTA 連合会	新潟県五泉市・五泉南小 学 校 広島県豊田郡豊町・豊浜町 ・豊高地区教育推進協議会 (豊島幼稚園・大浜幼稚園 沖友幼稚園・久比幼稚園 豊島幼稚園・豊島小学校・ 斎小学校・大浜小学校・ 沖友小学校・久比小学校 豊小学校・豊浜中学校 豊中学校・豊高校)
第20回	1985. 10. 25 ~26	全国バズ学習研究会 姫路市立高丘中学校 姫路市立城南小学校 姫路市立御国野小学校 中播バズ学習研究会 (兵庫県教育委員会 姫路市教育委員会 姫路市立高丘中学校P T A 姫路市立城南小学校育 友会 姫路市立御国野小学校 PTA)	兵庫県姫路市・高丘中学校, 城南小学校, 御国野小学校
第21回	1986. 8. 21 ~22	全国バズ学習研究会 愛知県教育委員会 名古屋教育委員会 中日新聞社 中京大学	名古屋市・中京大学八事校 舎

領域別報告一覧

以下に全国バズ学習研究会での分科会報告を領域別に掲げる。各報告は、報告者名(または報告校名)、( )内に報告者の所属した学校名とその学校の所在県名(学校名での報告の場合は所在県名のみ)、報告の題目、報告が行われた研究会の回数の順に記載されている。掲載順序は、報

告の行われた研究会の回数が多いものを先としており、また、同一研究会の報告は、報告者名(報告校名)の頭文字のアルファベット順に並べた。

(1) バズ学習の基本的構想の研究

- 岸本博好(兵庫 白鷲中) 学力と人間関係の同時達成——人間関係を基盤にした統合的教育 第17回研究会
- 小倉貴美子(徳島 助任小) 思考を深める相互作用 第17回研究会
- 白井 仁(愛知 元豊川中部中) 「バズ学習」の実践 第17回研究会
- 遠畑勝人(青森 河南中) 自己表現力(人間性と学力)の豊かさを求めて——バズ学習を核とする授業の展開 第17回研究会
- 山田利彦(岐阜 泉中) 非行を生みださない指導——リーダーの自覚 第17回研究会
- 吉田 廣(兵庫 北条小) 授業改善とバズ学習 第17回研究会
- 細川文男(徳島 波野小) 入門期のバズ学習 第18回研究会
- 関根廣志(新潟 木戸中) 社会科における自主・協同学習の展開 第18回研究会
- 高橋 正(兵庫 花田中) 英語学習における小集団活用の側面 第18回研究会
- 山本雅楽子(兵庫 安室中) 全校ぐるみで取り組む「見つけ、生かし、育てよう」学級づくり 第20回研究会
- 水野せつ子(岐阜 泉中) 中学・高校のバズ学習——教科指導からのスタート 第21回研究会
- 谷水 永(広島 豊島小) 学力と人間関係を高める教育の創造——校内研修推進計画 第21回研究会
- 寺井正輝(愛知 春日井中部中) 相互作用を生かし、参加度を高める学習指導——校内現職教育をとおして 第21回研究会
- 土屋邦雄(新潟 曾野木小) 自主性を育てるバズ学習 第21回研究会
- 山田節男(愛知 神屋小) 小学校高学年のバズ学習 第21回研究会

## (2) 教育目標、学習課題の研究

- 林 敏明 (愛知 春日井東部中) バズ学習による知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成——班活動を通じた学習集団づくり 第16回研究集会
- 川崎優子 (兵庫 中崎小) ゆとりと充実をめざすグループ活動の指導 第16回研究集会
- 松尾佳信 (兵庫 峰相小) 子どもの学習意識の流れに沿った合科的な学習指導 第16回研究集会
- 道上昌幸 (兵庫 白鷺中) ゆとりの時間の計画と実践 第16回研究集会
- 杉本昌弘 (徳島 千松小) 小学校3年社会科における課題設定についての一考察 第16回研究集会
- 田井東浩史 (兵庫 余部小) ひとりひとりが豊かな人間性と確かな学力を身につける教育活動 第16回研究集会
- 高磯忠実 (兵庫 白鷺中) 学力と人間関係——学力の向上と態度の育成 第16回研究集会
- 田本安広 (愛知 味美小) 課題設定へのとりくみ——社会科・見学習を通して 第16回研究集会
- 萩藤優子 (兵庫 書写中) 相互学習・自己評価の徹底、確実が自己実現を生み出す——単元見通し学習による授業改善 第19回研究集会
- (3) 学習への援助と指導の研究
- ① 課題へのとりくみ (ストラテジー)
- 加藤淳二 (愛知 北城小) 思考力を育てる学習方法 第16回研究集会
- 古寺真理子 (兵庫 小宅小) 何でも言える学級づくりと話し方 第16回研究集会
- 奥山登美子 (兵庫 神戸大附属幼) ひとりひとりが主体的に遊びに取り組むための指導——自ら選んで行う経験や活動 第16回研究集会
- 小林俊広 (兵庫 北条小) 効果的な話し合い学習——自ら考え意欲的にとりくむ子どもをめざして—— 第17回研究集会

- 津野敬子 (兵庫 姫南小) 思考を深める相互作用 (高学年) 第17回研究集会
- a 国語科
- 松尾佳信 (兵庫 峰相小) 読みとる力、聞きとる力を伸ばすには、相互作用をどのようにさせればよいか——「読み」の中に、多様な表現活動を 第18回研究集会
- 水野せつ子 (岐阜 泉中) 学習における小集団の指導はどのようにすればよいか 第18回研究集会
- 吉田幸彦 (愛知 高座小) 読みとる力、聞きとる力を伸ばすには、相互作用をどのようにさせればよいか——物語文(「とびこめ」光村図書出版4年上)の読解指導を通して 第18回研究集会
- 国田徹也 (兵庫 北条小) やる気を育てる授業改善 (国語を中心に)——個人学習とノート利用を基にして 第19回研究集会
- 松原克彦 (愛知 西山小) 児童のやる気を育てる国語の読解指導——課題の追求と相互作用の活用を通して 第19回研究集会
- 荻尾邦子 (兵庫 白鳥小) 確かで豊かな表現力、読み取りの力をつける指導をどのようにするか——朗読指導を通して 第20回研究集会
- b 社会科
- 吉村一雅 (岐阜 泉西小) 思考を深める相互作用——個人思考と集団思考、人間関係の高まり 第17回研究集会
- 芝 明 (兵庫 北条小) 自主的に協調して課題を追求する子どもに育てるには、どのようにすればよいか——課題づくりからの出発 第18回研究集会
- 柴田 忠 (滋賀 愛知川小) やる気を育てる授業改善——社会を中心 (歴史学習において子どものやる気をいかに育てるべきか) 第19回研究集会
- 土井紀美子 (広島 豊小) 「活動」を重視した指導の実践 (1年生1学期の授業から) 第20回研究集会
- 磯村義幸 (岐阜 泉中) 生徒の見方、考え方を広げ深める社会科指導の

あり方——歴史的分野、自由民権運動の学習を通して 第20回研究会  
集會

竹沢啓之(兵庫 青山小) 地域の素材を教材化し、自ら学ぶ力と態度を  
どのように育てるか——6年生「百姓一揆と打ちこわし」で地域の素  
材『姫路藩の全藩一揆』にとりくんで 第20回研究会集會

山本省志郎(兵庫 御国野小) 地域の社会的環境の見直しと教材化  
第20回研究会集會

松井 郁(兵庫 白浜小) ふるさとを正しくみつめ、郷土白浜を愛する  
心を育てる社会科学学習 第21回研究会集會

### c 算数・数学科

福島千代子(滋賀 五個荘小) 課題への取り組み——小学校3年 算  
数科「かけ算のひっ算」の指導を通して 第16回研究会集會

森田 薫(兵庫 北条中) 学力を高めながら人間関係を深める態度の  
育成 第16回研究会集會

大関 巖(新潟 五条南小) 思考を深める相互作用——5年生算数の  
実践を通して 第17回研究会集會

辻 善造(愛知 小野小) やる気を育てる授業改善(算数で) 第19回  
研究会集會

後藤幸康(愛知 高座小) 数学的思考を高める相互作用のあり方 第  
20回研究会集會

久保好則(兵庫 野里小) 学習具を工夫し、創作活動を通して数学的な  
考え方をどのように高めるか——複線式指導による授業改善をめざし  
て 第20回研究会集會

中島憲子(兵庫 御国野小) 数学的な考え方を育てる授業の創造——  
操作活動・学習具の工夫、活用を通して 第20回研究会集會

西村忠昭(兵庫 富田小) 1年生の子どもが、お金を払ったり、おつり  
を渡したりして、加法減法の使われる場を確かにとらえていく指導は  
どうあればよいか 第20回研究会集會

柴原辰秀(兵庫 半田小) 学習具を工夫し、創作活動を通して数学的な

考え方をどのように高めるか 第20回研究会集會

井端保夫(兵庫 高丘中) バズ学習による教科指導の方法——おちこ  
ぼしのない指導に向けて 第21回研究会集會

辻 善造(愛知 小野小) ひとりひとりを生かす指導に向けて——算  
数指導を通して 第21回研究会集會

### d 理科

友本志津雄(滋賀 五個荘小) 理科学習における個人思考と集団思考  
——単元「ほのお」の実践授業報告 第17回研究会集會

道原秀徳(長崎 堤小) 課題意識を持たせ、自ら探究する意欲を高める  
指導をどのようにすすめるか 第20回研究会集會

小河紀人(兵庫 城巽小) 課題意識をもたせ、自ら探究する意欲を高め  
る指導をどのようにすすめるか 第20回研究会集會

大原若菜(兵庫 増位小) 課題意識をもたせ、自ら探究する意欲を高め  
る指導をどのようにすすめるか 第20回研究会集會

富田 彪(愛知 高森台小) 課題意識をもたせ、自ら探究する意欲を高  
める授業をどのようにすすめるか——1年「きんぎょ」の学習をと  
おして 第20回研究会集會

### e 英語科

加藤光明(岐阜 泉中) 基礎学力の充実をめざす学習集団づくり 第  
19回研究会集會

山田恵美(兵庫 飾磨中部中) 自主的・協力的な学び方を育成し、個に  
応じた指導をどのようにすすめるか 第20回研究会集會

### f 体育科

伊藤三洋(三重 朝明高) 生徒の主導性を生かした柔道指導の検討  
——バズ学習の教育心理学的研究におけるアクション・リサーチの一  
環として 第16回研究会集會

伊藤三洋(三重 朝明高) 効果的な指導ストラテジーの開発に関する  
アクション・リサーチ——高校体育科の柔道授業を題材として 第  
17回研究会集會

野瀬 隆 (滋賀 五個荘小) なかまとも楽しく意欲的にとりくむ  
ゲームの効果的な指導を求めて——4年生の実践から ゲームの指導

第17回研究集会

伊藤三洋 (三重 朝明高) 単元見通し学習のアクション・リサーチ

第19回研究集会

兵庫県姫路市立安室東小学校体育部 プールの施設、設備、器具を使って  
自ら体力づくりをどのようにすすめるか 第20回研究集会

三輪敏成 (岐阜 泉西小) 固定施設の遊具器具を使って自ら体力づく  
りをどのようにすすめるか 第20回研究集会

高田淑江 (兵庫 御国野小) 動くことの好きな体力づくりを自らやっ  
ていける子の育成——業間を有効に使用して—— 第20回研究集会

8 自由バズ方式

是次紀勇 (三重 豊津小) 効果的な話し合い学習のとりくみ 第17回  
研究集会

吉井秀人 (三重 波瀬小) 思考を深める相互作用——自由バズによる  
人間関係の高まり 第17回研究集会

② 集団づくり

宮本育子 (兵庫 小宅北幼) 仲間の中で意欲的に遊ぶ子どもをめざし  
て 第16回研究集会

山下美佐子 (兵庫 城南小) 学習の質を高める話し合い——意欲的に  
課題に立ち向かい、自己表現をめざす子の育成 第16回研究集会

越智昭孝 (広島 広島県豊高校区教育推進協議会) 単元見通し学習(ユ  
ニット学習)への道 第17回研究集会

市場郁也 (兵庫 八木小) 効果的な話し合い学習——「支えあう学習集  
団づくり」をめざして 第17回研究集会

北村艶子 (徳島 八方南小) 効果的な話し合い学習——支えあう学習  
集団づくり 第17回研究集会

三里栄子 (兵庫 小宅小) なかよし学級づくり——教え合いから話し  
合いへ 第17回研究集会

柳内 翠 (兵庫 城北小) みんなを生かす学級づくり 第17回研究集  
会

吉田ハル子 (徳島 福島小) なかまづくり——教えあいかから話し合い  
へ 第17回研究集会

宮地キヌ子 (広島 久比小) 個の問いかけに応え磨き合う学習集団づく  
り——思考を深める相互作用(個人思考と集団思考——人間関係を  
高めつつ) 第18回研究集会

中野 均 (新潟 保田小) 筋道を立てて考え、処理する力と態度を育て  
るにはどうしたらよいか 第18回研究集会

野本 翼 (新潟 関屋中) 学級を学習集団に育てるには、どのような指  
導をすればよいか 第18回研究集会

渡辺武志 (新潟 南万代小) 自主的に協調して課題を追求する子ども  
を求めて 第18回研究集会

中野 均 (新潟 保田小) 学習集団の形成をめざして 第19回研究集  
会

伊藤三洋 (三重 朝明高) 修学旅行スキー研修の運営と効果——生徒  
の自主性を引き出す試み 第20回研究集会

川村憲雄 (京都 京都女子大附小) 楽しい学級集団をもとめて 第20  
回研究集会

小林ひとみ (兵庫 網干小) 確かで豊かな表現力、読みとりの力をつけ  
る指導をどのようにするか 第20回研究集会

田川正樹 (愛知 松山小) バズ学習の基盤としての学級づくり——参  
加度の高まった授業をめざして 第20回研究集会

柳内 翠 (兵庫 城北小) 友だちを大切にすることを育て、仲のよい学級  
集団をつくる——バズ・セッションによる環境づくり 第21回研究  
集会

(4) 評価の研究

土井紀美子 (広島 豊小) 授業改善と評価 第16回研究集会

丸山正克 (愛知 千両小) 評価の工夫——評価の結果を生かすために

## 第16回研究会

- 八瀬典喜(兵庫 龍野小) 評価の工夫——プリアテスト・ポストテストの方法による評価の有用性 第16回研究会  
 齊木秀弘(愛知 西山小) 学習過程における評価の研究——観点別達成度評価と即時評価 第17回研究会  
 高村 博(滋賀 五個荘小) 子どもの力が生きるバズ学習——自己評価を促す学習指導のあり方 第18回研究会

## (5) 生活指導領域での指導の研究

## ① 集団づくり

- 岩田 好(兵庫 城陽小) 豊かな心情を育て、自己表現をめざす教育活動——個を生かす集団を求めて 第16回研究会  
 松田福義(兵庫 安室中) 生徒指導とバズ学習 第16回研究会  
 杉本純子(兵庫 谷内幼) 集団の中でひとりひとり生き生きと活動することを求めて——園外保育を中心としたグループ保育の実践 第16回研究会  
 福本友三(兵庫 太子西中) 非行を生み出さない指導 第17回研究会  
 後藤健二(岐阜 瑞浪小) 効果的な話し合い学習 第17回研究会  
 林 泰男(愛知 藤山台中) より望ましい学級集団(班)づくりをめざして 第17回研究会

- 伊藤文雄(愛知 春日井東部中) 学力と人間関係の同時達成——班活動を通じた学習集団の育成 第17回研究会  
 松田福義(兵庫 安室中) 非行を生み出さない指導 第17回研究会  
 名賀一三(兵庫 城乾中) 非行を生み出さない指導をどうするか——学級集団の育成、わかる授業の研究 第17回研究会  
 井口 盾(兵庫 船津小) 励まし合い認め合う学級集団づくりをどのようにすすめるか 第20回研究会

- 井上哲郎(新潟 南中野小) 励まし合い認め合う学級集団づくりをどのようにすすめるか——いじめの問題点とその対策 第20回研究会

## 会

- 松盛清泰(兵庫 白鷺中) 個を認め個を生かした学級づくりをどのようにすすめるか 第20回研究会  
 佐野正和(兵庫 書写中) 個を認め個を生かした学級づくりをどのようにすすめるか 第20回研究会  
 柳内 翠(兵庫 城北小) 生き生きとした心のかような学級集団づくりをめざして 第20回研究会  
 古賀直人(愛知 鷹来中) 小集団を基礎とした学級経営を通して、個がいかに変容させるか——班ノート指導を中心とした取り組み 第21回研究会  
 田川正樹(愛知 松山小) 個を生かす学級集団づくり——バズ学習による支持的風土づくり 第21回研究会  
 横手 茂(広島 豊中) 中学・高校のバズ学習——生活指導からのスタート (協同・創作活動を通して自主性を高める集団づくり) 第21回研究会

## ② 生徒指導

- 古林伸也(兵庫 龍野西中) 学級集団づくりと生徒指導 第16回研究会  
 井上博明(愛知 北条中) 生徒指導へのとり組み 第16回研究会  
 佐橋修吾(愛知 勝川小) ボランティア活動を通しての障害児理解の指導 第16回研究会  
 高橋美子(兵庫 神野小) 個を生かし、全員参加の学級づくり 第16回研究会  
 辻 善造(愛知 小野小) 効果的な話し合い学習(中学生) 第17回研究会  
 長沢宗英(新潟 藤見中) 非行を生み出さない指導はどうすればよいか——ツッパリ生徒と柔道——生徒に感動場面を与える柔道指導の一例 第18回研究会  
 高木保春(愛知 鷹来中) よりよい人間関係を育成する生徒指導 第

## 18 回研究集会

遠畑勝人(岩手 河南中) 生徒非行を生みださないう指導はどうあればよいか——確かで豊かな自己表現力を求めて 第18回研究集会  
 山口英雄(兵庫 広嶺中) 生活規律の向上と活性化をめざし、やる気と抑制力をたかめるにはどうすればよいか 第20回研究集会  
 鈴木 昭(愛知 豊川東部小) バズ学習による生活指導の方法——非行、いじめ、登校拒否の解決に向けて 第21回研究集会

## ③ 教科外活動

石野茂三(兵庫 小野南中) 規律ある集団の中で、個がめざま高まる生徒指導 第16回研究集会  
 市川雄二(三重 神戸中) 清掃活動を改善するための試み——バズと自己決定の導入による 第17回研究集会

梶田久忠(愛知 春日井中部中) 学習集団と生活集団の統合をめざす——バズを活用した生徒会・学級会活動 第19回研究集会  
 目黒 泰(岩手 河南中) バズ学習を取り入れた教育課程の実践と深化——特別活動におけるバズ学習の展開 第19回研究集会  
 長縄秀孝(愛知 鷹来中) 生活規律の向上と活性化をめざし、やる気と抑制力を高めるにはどうすればよいか——「S. T.」の取り組みを通して 第20回研究集会

喜多英雄(兵庫 林田中) バズ学習を取り入れた清掃活動 第21回研究集会

## ④ 進路指導

河田博仁(愛知 高森台中) 目標をもち自己実現をめざす生徒の育成をどのようにすすめるか 第20回研究集会  
 大久保 昭(兵庫 城乾中) 自己の進路を自らきりひらいていく生徒の育成 第20回研究集会

## ⑤ 障害児の指導

梶原由紀子(兵庫 飾磨西中) 障害の程度に応じた教育方法の工夫——ちえおくれの子とバズ学習 第16回研究集会

竹上道邦(兵庫 英賀保小) 障害の程度に応じた教育方法の工夫 第16回研究集会

池内文子(広島 沖友幼)・土井紀美子(広島 豊小) 自閉的傾向のA児の指導はどうあるべきか 第17回研究集会

## (6) 地域とバズ学習とのかかわりの研究

賀集日出美(兵庫 高丘中) ゆとりの時間における町別バズ学習の計画と実践 第16回研究集会

山口明彦(兵庫 林田中) ひとりひとりをみつめる地区教育事業の展開をめざして 第16回研究集会

広島県豊高校区教育推進協議会(広島) バズ学習と同和教育の統合をめざして 第16回研究集会

広島県豊高校区教育推進協議会・広島県立豊高校(広島) バズ学習と同和教育の統合 第17回研究集会

村上範明・横長真知子(広島 豊中) 地域の教育課題をふまえた教育内容の創造をめざして——授業改善を軸に集団の質的向上と自主性の育成 第17回研究集会

笹尾秀登(兵庫 花田中) ゆたかな人間形成をめざして 第17回研究集会

望月民雄(広島 豊浜中) 地域課題をふまえた指導のあり方——支え合う集団づくり 第18回研究集会

沢田映子(兵庫 城陽小) 地域の教育課題をふまえた教育内容の創造へ向けて——同和教育 第19回研究集会

望月民雄(広島 豊浜中) 地域課題をふまえた指導のあり方 第20回研究集会

高橋 渉(兵庫 花田中) 親の願い、地域の願い、友だちの願いにこたえられる生徒の育成——別室におけるきこまかな指導のあり方を考える 第20回研究集会

高橋幸博(広島 忠海高) 生徒と共に歩むために 第20回研究集会

## 文 献

- 第21回全国バズ学習研究会事務局編 1986 いま教師にできること——バズ学習からの提言
- 五泉市立五泉南小学校 1983 子ども同士が支え合い高まり合う学習集団を作るには(研究紀要第22集)
- 姫路市立高丘中学校 1985 個性化をめざす教育の創造——人間関係を基盤として(研究紀要)
- 広島県豊高校区教育推進協議会編 1984 地域の教育課題をふまえた教育内容の創造——共に生きる集団づくりを(第19回全国バズ学習研究会資料)
- 加西市立北条小学校 1981 児童の相互作用を通してひとりひとりを生かす学習指導(研究紀要)
- 杉江修治・市川千秋・石田裕久・石田勢津子 1981 バズ学習の実践的報告一覧——全国バズ学習研究会分科会報告から 中京大学教養論叢, 22-2, 145

## 『増修互註禮部韻略』索引稿Ⅱ

## 水 谷 誠

## 凡 例

- 本索引は、『増修互註禮部韻略』の所収字の検索、及び『大宋重修広韻』との比較対照をを主な目的とする。
- 本索引は、天理図書館蔵・元刊本『増修互註禮部韻略』(天理図書館善本叢書漢籍之部八 1982年 八木書店刊)を底本とした。なお、内閣文庫蔵・日本南北朝刊本『増修互註禮部韻略』も、あわせて参照した。
- 『大宋重修広韻』は、澤存堂本(台湾藝文印書館刊)を底本とした。
- 索引の文字の配列は、四角号碼順である。おおむね『大漢和辞典』索引(巻十三)での四角号碼順に並べたが、卑・鬼等の活字体上の理由で『大漢和辞典』索引の四角号碼順とは一部異なるところがある。
- 『増修互註禮部韻略』の所収前、次に項数、反切、所属韻の順で記した。なお、**増入** **重増**の注記がある場合には、所属韻の次に**増**と付した。
- 『増修互註禮部韻略』の所収字が示す反切に該当する字が『大宋重修広韻』にない場合、「不見」と記した。なお、両書で字体が異なる場合や、異体字となっている場合は、その旨を記した。
- 『大宋重修広韻』の欄に記してある声類・開合・等位の注記は、上田正著『切韻諸本反切総覧』(1975年 均社)に(一部の韻では私見をまじえているが)全面的に拠っている。ここに記して感謝の意を表す。

『増修互註禮部韻略』索引稿Ⅰ(0010<sub>r</sub>~0968<sub>o</sub>) 『中京大学教養論

叢』28巻2号

『増修互註禮部韻略』索引稿Ⅱ(1000<sub>o</sub>~1973<sub>2</sub>)本号